

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	若年母子家庭のデジタル人材化支援事業
資金分配団体名:	一般財団法人リープ共創基金
実行団体名:	一般社団法人グラミン日本
実施時期:	2021年3月～2022年1月
事業対象地域:	東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪
事業対象者:	若年シングルマザー

Version 3.3

日付: 2022年2月15日

I. 事業概要

事業実施概要	一都三県（東京、神奈川、埼玉、千葉）及び大阪に在住する、働く意欲がある一方で、デジタルスキル不足により安定した収入と子育てとの両立が可能な職業への就労機会に恵まれない、20代から44歳までの若年シングルマザーを助成事業の対象とする。 若年シングルマザーの適性に合わせたケアを行いながら、①グラミン式の起業・就労支援のノウハウ提供、②デジタルスキル習得トレーニングやOJTの場の提供、③習得スキルを活かした実践機会の提供、④シングルマザー特化の人材マッチングプラットフォームの提供、⑤雇用受入れ企業に対するフォローの提供を行う。
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナの影響の長期化に伴い、第1期・第2期ともに6倍程度の応募倍率となった。デジタルスキルを身につけリモートでの就業を希望する若年シングルマザーのニーズを実感。能力は高いものの、子どもの障害、自身の難病、夫からのDV、ブラック企業での就労や虐待による精神疾患を持つ方や、20年以上続けてきた販売職を解雇された方、勤務先のカフェやエステ店の閉店により失職した方などにリーチすることができた。 ●1期で子どもに障害のある参加者1名が離脱したことを踏まえ、2期は毎週のフォローアップ面談を導入し集合研修時間を短縮。それでも、2期はRPAプログラムということもありPCスキルによる進捗のグラデーションが大きく、元々開業希望であった1名とメンタル面での問題から1名の計2名が離脱。オンラインでのアセスメントと、アセスメント結果に基づく伴走支援の設計に課題が感じられた。 ●1期卒業生4名中4名がフリーランスや企業への就職を果たしたことや、2期ではチームでの開発作業が好走し参加者の意識変化が促された点に鑑みると、スキル習得担当団体・就労支援担当団体との三者共同での事業スキームや5人一組の互助組織形成は有効と考えられる。他方で、プログラムを通じて本人の適正が明らかになる面もあり、自立の観点からは多様な選択肢の提示とプログラム終了後の伴走支援が重要と考えられる。 ●これらを踏まえ、来期に向けたスキーム上の課題としては、①オンラインでの全国の対象者へのアウトリーチ（支援が必要な方）、②オンラインでのアセスメント、③アセスメント結果に基づく、伴走支援の設計とインパクト評価モデルの設計とともに、グラミン日本としては、④プロボノ組織体制の強化、⑤雇用出口企業の囲い込みが喫緊の課題と考えられる。
助成事業実施を通じた団体の成長に関する振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施を通じて、日本シングルマザー支援協会の伴走支援も受けながら、運営やOJT提供者の立場でプロボノメンバーが実際に若年シングルマザーの支援に携わり、若年シングルマザーが抱える問題や環境への理解や支援の仕方、研修の提供方法など学びや気づきにつながったとの声が上がっている。 ・また、3社共同での支援スキームにより、団体として志を共にする協力団体との連携も強化することができた。 ・プログラムをパッケージ化し横展開することで、団体としての活動の幅を広げていければと考えている。

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
ひとり親	就業困難	コロナ禍で収入が減少した若者の雇用	雇用した就労支援対象者数	1期・2期各5名	1期5名、2期6名を雇用	コロナの影響の長期化や就労に対する制約から、デジタルスキルを身につけ、特にリモートでの就労につなげたいという若年シングルマザーのニーズの高さにより、目標値を達成できたものと考えられる。
ひとり親	就業困難	支援プログラムを完了	途中離脱せず、予定されていたプログラムを完了した人数	1期・2期各5名	1期1名、2期2名離脱	1期は子どもの障害が原因。2期の離脱者1名はPCスキル(PC環境)と元々の開業希望に原因、もう1名は本人の価値観・精神状態に応じた伴走支援の難しさに原因。前者についてはプログラムの負荷(特に土曜の午前4時間集合研修というプログラム設計)を検討する必要あり。後者については選考時のスクリーニングを検討する必要、伴走支援に係る運営側のノウハウ共有を図る必要があると考えられる。「無料」による離脱の障壁の低さや「雇用関係」にあることの意識の醸成のしにくさがあると考えられ、参加者の自発的なコミットメントを高めるような仕掛けを検討する必要がある。
ひとり親	就業困難	事業終了後の就労	事業終了時に就労している人数	1期・2期各5名	1期4名 2期3名 ※出口企業との連携スキームにより、1期卒業生はLancersでフリーランスでの業務受注とシングルマザー支援協会による就労支援を、2期卒業生のうち職業訓練に進んだ1名を除き3名にはRobo Co-opでのフリーランスとしての業務受注とAnimoによる就労支援を提供。	出口企業と連携するスキームにより、1期はLancersでの業務委託と日本シングルマザー支援協会による就労支援、2期はRobo Co-opでの業務受注とAnimoによる就労支援につなげており、最低ラインの出口を用意することはできたが、3か月のプログラムの終了時点での自立には難しさを実感した。また、プログラムを通じて適性が明らかになる場合もあり、参加者の自立を目指す観点からは、①多様な選択肢を用意すること、②プログラム終了後の伴走支援が重要と考えられる。

ひとり親	就業困難	事業終了後の就労	雇用終了後半年後に就業している人数	1期・2期各5名	1期4名 ※2期については追ってご報告	1期卒業生4名については、以下のとおり各就業している。 ・IT企業へ就職 ・フリーランスとして業務受注経験の後、非正規雇用 ・フリーランスとして業務受注 ・正社員雇用 ※2期卒業生については追ってご報告させていただきたい。
受入企業・団体	その他	受入企業の売上増 ※該当する団体のみ	売上	—	—	—
受入企業・団体	その他	受入企業での新企画実施 ※該当する団体のみ	実施した新企画数	—	—	—

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	今回の就労支援プログラムの実効性が評価・検証され、より多くの受益者や就労職種への適用するためのノウハウがパッケージ化されている状態。また、都市圏での成功モデルとして行政・企業等に認知され、他地域や同業他社の企業の意識変革が起き始めている状態。さらに、事例が増え始める状態。
考察等	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期にプログラムのパッケージ化を行っており、第2期を踏まえ修正を加えて完成できる見込み。 ・より多くの行政・企業等に認知されるよう、プログラム内容や就労事例についてはグラミン日本SNS等を通じて周知広報を行うほか、3月末に開設予定のグラミン日本パートナー向けサービスサイトにおいても周知を予定。 ・来年度より日本シングルマザー支援協会とのコンソーシアムによる資金分配団体に採択されたところであり、今回のパッケージの活用も検討。これらの活動により他地域や同業他社の意識変革を促し、事例創出を進めていきたい。

V. 活動

活動	進捗	概要
当該支援プログラムの告知や準備 (2021/2-4)	計画通り	グラミン日本HPやSNS、連携団体による広報を実施。関係者間でプログラム内容を検討
第一期生受入れ(2021/5-7)	計画通り	動画作成やSNS発信等デジタルマーケティング業務を通じたOJT、就労支援プログラムの受講等
第二期生受入れ(2021/10-2022/1)	計画通り	プログラム検討により多少開始時期が遅れたもののほぼ予定どおり実施。RPAトレーニングとチームでのグラミン内の業務にかかるRPA開発業務を通じたOJT、ビジネストレーニング、面接指導や履歴書添削等の就労支援プログラムを実施。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	特になし
---------------------	------

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの長期化により依然として女性・非正規の雇用環境は厳しい状況。児童の間での感染拡大も相まって、シングルマザーの柔軟な働き方への訴求は更に高まっているように感じられる。他方で、デジタル領域の能力開発・労働移動には政府の関心も高く、同領域での女性の就労支援は今後更に強化されていくように考えられる。また、副業解禁の流れの中でこれまでの正社員のあり方も変化しており、中間就労やフリーランスといった選択肢も増やしていく必要があるものと考えられる。グラミン日本としては、こうした世の中のトレンドを取り込み、シングルマザーの就労支援・自立支援を展開していきたい。 ・特にデジタル領域は、住む場所に囚われない働き方を実現するものであり、全国のシングルマザーを対象に支援を行うことを可能とするものでもある。このため、来期は①オンラインでの全国の対象者へのアウトリーチ（支援が必要な方）、②オンラインでのアセスメント、③アセスメント結果に基づく、伴奏支援の設計とインパクト評価モデルの設計に取り組むとともに、グラミン日本として、①プロボノ組織体制の強化、②特に首都圏に基盤を置く雇用出口企業の囲い込みに取り組み、首都圏から地方、そして全国へと支援対象を拡大していきたい。
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
一般社団法人日本シングルマザー支援協会	第1期、第2期に参加者の就労に向けた伴走支援を実施
株式会社Lancers	第1期にライティングスキルトレーニングを担当
株式会社Animo	第2期に参加者の就労に向けた伴走支援を実施
一般社団法人Robo Co-op	第2期にRPAスキルトレーニングを担当
株式会社UPDATER(旧みんな電力)、SAP Japan	卒業生への記事制作業務を委託
アクセントチュア	プログラム内容のパッケージ化、デジタルトレーニング提供等で連携

IX. インプット ※事業完了月の経費精算書の金額を入力ください。

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	2,800,000	2,800,000	100.0%
	管理的経費	311,860	341,860	109.6%
	雇用関連費	3,005,625	3,005,625	100.0%
合計		6,117,485	6,147,485	100.5%

補足説明	特になし
------	------

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	「グラミン日本、ランサーズ・日本シングルマザー支援協会と共にシングルマザー支援事業第一期をスタート（プレスリリース） https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000062687.html 「グラミン日本・Animo・Robo co-opが、デジタルスキルに特化したシングルマザー就労支援プログラムを開始」 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000015.000062687.html グラミン日本『やっと見つけた、私に優しい働き方』（ENECT Powered by みんな電力） https://enect.jp/labo/grameen-work-style/
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	公式noteで卒業生による記事を掲載 「【フラワープロジェクト】メンバー同士のつながりがあるから前に進める」 https://note.com/grameennippon/n/n9cc216231905 「【フラワープロジェクト】その道のプロによる伴走型支援で自分と向き合う！」 https://note.com/grameennippon/n/n6f99fe4ee04d 「【フラワープロジェクト】「雇用型」ジョブトレーニングのホントのところ」 https://note.com/grameennippon/n/nb9802a10400f
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	グラミン日本公式HPに掲載
4.報告書等	アニュアルレポートで紹介予定

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	団体の監査チームによる監査を実施し、監査報告書の提出を受けた
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	